

大阪・関西万博開催記念

工芸と京都

近世から近代へ



Commemorating EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN

Crafts and Kyoto

- From Early Modern to Modern Times

2025年7月28日[月] - 9月20日[土]

Monday, 28th July - Saturday, 20th September, 2025

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）

休館日：日・祝日、8月13日（水）～16日（土）

入館料：一般200円、大学生150円、高校生以下無料

*大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生・院生は学生証の提示により無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び
付添の方1名は無料（入館の際は、手帳の提示をお願いします）

主催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館 協力：京都・大学ミュージアム連携 助成：大阪・関西万博開催記念展覧会事業費補助金

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

工芸と京都ー近世から近代へ

戦争激化のため中止され、幻の万博と呼ばれた 1940 年の日本万国博覧会。戦後の目覚ましい復興と高度経済成長を背景に、「人類の進歩と調和」をテーマに開催された 1970 年の大阪万博。そして、いま 55 年の時を経て、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、ふたたび大阪で万国博覧会が開催されています。

本展では、この大阪・関西万博の開催を記念して、戦後、日本で開催された国際博覧会のポスターをご覧にいます。ぜひ懐かしの一品を探してみてください。それにくわえて、近世から近代にかけて京都で制作された、あるいは本校で教材として使用された陶磁器や漆芸品をご覧ください。近代において、博覧会という名の競技会が国内外で開催されるようになり、海外のデザイン潮流や技術と無縁ではいられなくなった京都が、伝統を重んじつつ、あらたに造り上げた工芸品の数々をお楽しみください。



1



2



3



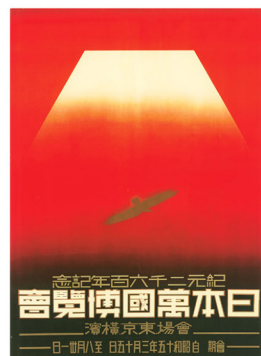
4



5



6



7

- 1 板谷波山《彩磁蓼葉文様花瓶》1911 頃、AN.1541
- 2 《小鼓(薔薇に篠竹蒔絵鼓胴)》江戸時代前期、AN.0799
- 3 六代錦光山宗兵衛《燕子花文様懸水》江戸時代末～明治時代初期、AN.2321
- 4 初代清風与平《色絵桜樹文様蓋物》江戸時代後期、AN.2316
- 5 浅井忠図案、杉林古香製作《朝顔蒔絵手箱》1909、AN. 1617
- 6 武田五一図案、七代錦光山宗兵衛製作《百合花模様花瓶》1912、AN.2557
- 7 中山文孝《紀元 2600 年記念 日本万国博覧会》1940、AN.2694-37

表面：岩倉山吉兵衛《色絵四季文様小鉢》江戸時代、AN.2313

交通

- ・市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1 番出口から徒歩約8 分
- ・京都バス「高野泉町」下車徒歩約10 分
- ・叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15 分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to “Matsugasaki” Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at “Takano-Izumicho” stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at “Shugakuin” Station and walk west for 15 minutes.

Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.

同時開催

博物館実習成果展

「日本を駆ける近代の風 暮らしのデザイン、魅せるデザイン」

2025 年7 月28 日(月)～9 月20 日(土)

お問い合わせ

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

